

日教振第118号
令和8年9月7日

日本語教育機関設置代表者 殿

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 加藤 早苗

令和8年度文部科学省委託
生活指導・支援担当者研修の実施について（ご案内）

当協会の運営につきましては、日頃からご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

当協会では、日本語教育機関における生活指導担当者の能力向上を図るため、平成14年度から研修を実施しておりますが、本年度は文部科学省の「令和8年度現職日本語教員研修プログラム開発・実施事業」として、この研修を行います。

日本語教育機関の生活指導担当者には、生活指導及び進路指導を行うのに必要な知識及び経験が求められますが、本研修では体系的かつ実務的に整理して知識を学ぶことができます。ぜひこの機会を有効にご活用下さい。

貴機関の生活指導担当者（事務職兼務者、教務兼務者を含む。）で参加希望者がいる場合は、**令和8年9月18日（金）**までに参加申込フォームからお申込みくださいますようお願いいたします。

※申込多数の場合は締切日より前に受付を終了することがございますので、予めご承知おきください。

記

1 定員及び参加要件

(1) 定員 140 名（東京会場 70 名／大阪会場 70 名）

※応募多数の場合は、1 校につき 2 名までとさせていただきます場合があります。
参加決定後の会場変更は不可。

(2) 参加者の要件： 日本語教育機関において留学生の生活指導業務に従事する者。
（生活指導担当者、事務職員、教務担当者等）
研修の全日程に参加できる者。

2. 研修の概要

本研修は、事前学習用の動画教材 10 本、オンライン共通講義、対面研修 2 日間（東京 10 月 28 日・29 日、又は大阪 11 月 25 日・26 日）で構成し、修了者には修了証を交付します。

オンライン共通講義

10 月 23 日（金）13：30～15：30 東京・大阪合同 講義① 出入国在留管理庁担当官（50 分） 講義② 警視庁担当官（50 分）
--

東京会場

1 日目：10 月 28 日（水）14：30～18：20 交流会 18：30～20：00（任意参加） 2 日目：10 月 29 日（木）9：30～17：10 【会場】国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 101 室 https://nyc.niye.go.jp/ 東京都渋谷区代々木神園町 3-1

大阪会場

1 日目：11 月 25 日(水) 14：30～18：20 交流会 18：30～20：00（任意参加） 2 日目：11 月 26 日(木) 9：30～17：10 【会場】新大阪丸ビル別館 2-3 号室 https://merinoria.co.jp/bekkan/ 大阪府大阪市東淀川区東中島 1-18-22
--

※動画教材は 10 月中旬に公開します。

※宿泊が必要な参加者は各自で宿泊所の確保をお願いします。

※詳細は、別紙「研修のねらい・日程」をご参照ください。

3. 参加費等

研修参加費	12,000 円（税込）
交流会費	5,000 円程度

※研修参加費には、動画教材 10 本（約 100 分）、オンライン共通講義（120 分）、対面研修 2 日間が含まれます。

※交流会は任意参加です。

※参加費は事前振込です。お支払い方法、交流会費の料金は参加決定者に別途お知らせします。

4. 研修実施委員

委員長 北川 淳子（九段日本文化研究所日本語学院 校長）

委員（氏名五十音順）

小沼 俊（UJS Language Institute 代表取締役）

杉崎 雄一（（学）石川学園 横浜デザイン学院 総合日本語科教務主任）

曾根 さとみ（新宿平和日本語学校 事務長）

谷 一郎（与野学院日本語学校 校長）

徳安 貞子（専修学校久留米ゼミナール 日本語学科長）

朴 美那（飛鳥学院 代表取締役）

松崎 聡（国際アート&デザイン大学校日本語科 副校長）

山田 みのり（相模国際学院 事務長）

5. 修了要件

以下の要件を満たした方を研修修了者とし、修了された方には修了証を発行します。

- ・動画教材 10 本を視聴していること（視聴期限は対面研修の終了後 2 週間）
- ・オンライン共通講義（120 分）及び対面研修（590 分）のそれぞれについて、80%以上に出席していること
- ・対面研修で行う理解度確認テストで 70%以上の正答率を取得していること
- ・対面研修で行うグループワーク及びケーススタディに参加していること

6. 参加申込

参加を希望される会場の Google フォームよりご応募ください。

《東京会場》<https://forms.gle/8sQSSR5FtoVXpDAUA>

《大阪会場》<https://forms.gle/L3xD9Ty8G5qZWZiW6>

※申し込み受付け後、3 日以内（土日祝日除く）に、E メールで「参加申込確認」を送信します。メールが届かない場合は、受付されていない可能性がありますので、事業部宛てご連絡ください。

※参加者の決定については、後日お知らせします。お支払方法についても、あわせてお知らせします。

【問合せ先】

事業部 小野寺陽子 TEL：03-6380-6557 E メール：nisshinkyo2@gmail.com



文部科学省



NISSHINKYO

令和8年度文部科学省委託 生活指導・支援担当者研修
研修のねらい

2026 年 1 月、政府は「外国人の受入れ・秩序ある共生のための総合的対応策」を決定しました。在留資格審査の厳正な運用に加え、日本語教育機関に対しても、留学生の資格外活動状況の定期的な確認と出入国在留管理官署への報告、入学時の日本語能力の立証方法の見直しなどが盛り込まれています。また、留学生の生活指導・支援は、教育機関が備えるべき体制の一部として、これまで以上に確かな運用が求められる領域となっています。

本研修は文部科学省委託事業として、生活指導・支援業務の全体像を整理したうえで実施するものです。次の 4 点をねらいとしています。

- **法制度と国の方針の最新情報を把握**— 出入国在留管理庁および警視庁の担当者による講義を通じて、在留管理、資格外活動、事件・事故への対応について、制度を運用する立場からの説明を直接伺います。
- **自校の業務の全体像を可視化**— 「自校の業務マッピング」を作成し、他校の担当者と共有します。自校で手薄になっている業務や担当が定まっていない業務を確認し、学内の体制整備にご活用いただけます。
- **現場の事例に基づく対応力の向上**— 資格外活動、出席率の低下、所在不明、住まいのトラブル、心身の不調、卒業後の進路など、判断に迷う場面についてのケーススタディをグループワークで取り上げます。
- **担当者同士のつながりづくり**— 生活指導担当は校内で相談先が限られがちです。メンタルヘルスの講師に自校の事情を相談できる時間や、他校の担当者と意見交換する時間を設けています。

本研修は、事前学習用の動画教材 10 本、オンライン共通講義、対面研修 2 日間（東京 10/28、10/29／大阪 11/25、11/26）で構成し、修了者には修了証を交付します。

制度と現場をつなぐ役割を担う生活指導担当の皆様のご参加をお待ちしております。

1) 事前学習用動画教材

対面研修にご参加いただく前までにご視聴ください。

・10 月中旬から公開予定 ・1 本 10～20 分程度 ・対面研修終了後 2 週間視聴可能
--

1. 在留資格「留学」と学校の役割
2. 資格外活動と 28 時間ルール
3. 入学オリエンテーション(生活編)の設計
4. 犯罪・デジタルリスクの予防教育
5. 所在不明・長期欠席の初動
6. 留学生の精神的不調に関する理解と対応①
7. 留学生の精神的不調に関する理解と対応②
8. 住まい管理の基本
9. 医療・保険・お金の生活支援
10. 交通安全と事故対応

2) 研修日程

オンライン共通講義 2026 年 10 月 23 日 (金)

時 間	研 修 内 容
12:45～13:30	受付
13:30～13:40 (10)	開会挨拶 日本語教育振興協会理事長 加藤 早苗
13:40～14:30 (50)	講義①「認定日本語教育機関として必要な生活指導と最近の在籍管理について/現場からの Q&A」 (仮) 講師：出入国在留管理庁担当官
14:30～15:20 (50)	講義②「留学生が巻き込まれている犯罪や事件について/学校ができること」 (仮) 講師：警視庁担当官
15:20～15:30 (10)	理解度確認テスト
研修時間合計 (120)	

対面研修

東京会場 10 月 28 日(水)・29 日(木)

【会場】国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 101 室 (東京都渋谷区)

大阪会場 11 月 25 日(水)・26 日(木)

【会場】新大阪丸ビル別館 2-3 号室 (大阪市東淀川区)

【1 日目】

時 間	研 修 内 容
14:00～14:30	受付

時 間	研 修 内 容
14:30～14:45 (15)	趣旨説明 委員長 北川 淳子
14:45～15:15 (30)	生活指導・支援業務の全体像について
15:15～15:45 (30)	心構え
15:45～16:45 (60)	グループワーク①「自校の業務マッピング作成」
16:45～16:55	休憩
16:55～17:50 (55)	講義「留学生のメンタルヘルスと支援の原則」 講師：NPO 法人中央支援会 代表 松丘 昌三
17:50～18:20 (30)	講義内容の振り返りとグループ内シェア・質疑応答
18:30～20:00	ネットワーキング (立食パーティー、参加者間の情報交換・交流)

【2 日目】

時 間	研 修 内 容
9:00～9:30	受付

時 間	研 修 内 容
9:30～9:40 (10)	研修 1 日目の学び・気付き共有
9:40～10:10 (30)	学生と学校を守る体制作り

(別 紙)

10:10～11:40 (90)	グループワーク②ケーススタディ:事例から学ぶ危機対応「所在不明の学生が出た日ー24時間以内にやること」
11:40～12:50	昼食
12:50～14:50 (120)	グループワーク③ケーススタディ:事例から学ぶ危機対応「資格外活動、卒業後進路(キャリア支援)、出席率低下(行方不明)、生活トラブルなど」
14:50～15:00	休憩
15:00～16:10 (70)	各グループの発表・質疑応答
16:10～16:20	休憩
16:20～16:50 (30)	グループ成果の共有・意見交換
16:50～17:10 (20)	理解度確認テスト 閉会挨拶
研修時間合計 (590)	

○研修時間は、休憩、昼食及びネットワーキングの時間を除きます。

○日程は変更になる場合があります。